

2021年12月期 第1四半期 決算説明資料

2021年5月10日
サイバーコム株式会社
東証一部 <3852>

1. 決算概要	P 3
2. 営業利益増減分析	P 4
3. セグメント別業績	P 5
4. 貸借対照表	P 6
5. 参考情報		
(1) セグメント別売上高	P 7
(2) 顧客別売上構成比	P 8
(3) 業績予想	P 9
(4) 配当予想	P 10
(5) 会社概要	P 11

1. 決算概要

2021年12月期 第1四半期実績

(単位：百万円)

	前年同期 (20/01-20/03)	当期 第1四半期 (21/01-21/03)	増減／増減比	
売上高	3,483	3,717	233	+6.7%
営業利益	314	402	88	+28.1%
営業利益率	9.0%	10.8%	—	—
経常利益	321	405	84	+26.3%
経常利益率	9.2%	10.9%	—	—
四半期純利益	217	280	63	+29.2%
四半期純利益率	6.2%	7.6%	—	—
1株当たり 四半期純利益	27.10円	35.02円	7.92円	—
R O E (自己資本当期純利益率)	4.3%	5.1%	0.8%	—

◇売上高は、ソフトウェア開発事業とサービス事業が共に好調に推移し 37億17百万円（前年同期比 6.7%増）と**増収**になりました。

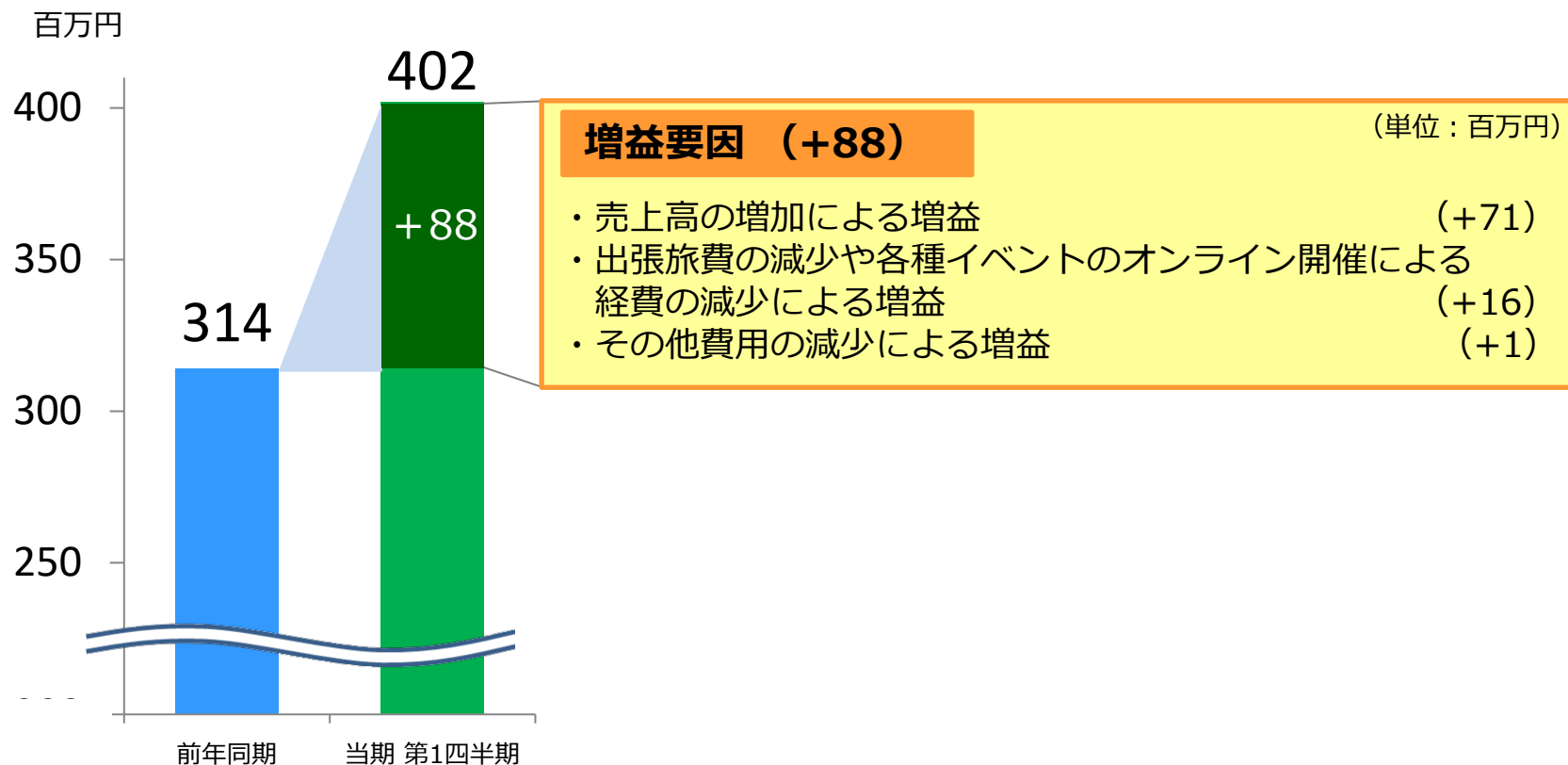
◇営業利益は、増収効果に加え感染症再拡大に伴う出張旅費の減少や各種イベントのオンライン開催による経費の減少等により 4億2百万円（前年同期比 28.1%増）と**増益**になりました。

◇四半期純利益は、2億80百万円（前年同期比 29.2%増）と**増益**になりました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策費用に関して前年同期は6百万円の特別損失計上をしていました。

2. 営業利益増減分析

2021年12月期 第1四半期実績



◇営業利益の増加要因

増収効果に加え感染症再拡大に伴う出張旅費の減少や各種イベントのオンライン開催による経費の減少等により前年同期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2021年12月期 第1四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	2,926	78.7%	164	+6.0%	492	16.8%	59	+13.7%
通信ソフトウェア開発	764	20.6%	302	+65.6%	114	15.0%	41	+56.7%
制御ソフトウェア開発	618	16.6%	▲173	▲21.9%	109	17.6%	▲9	▲8.0%
業務ソフトウェア開発	1,544	41.5%	35	+2.4%	268	17.4%	27	+11.3%
サービス事業	783	21.1%	75	+10.7%	122	15.6%	16	+15.4%
ファシリティ事業	6	0.2%	▲6	▲49.2%	2	38.7%	▲1	▲40.8
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲214	—	14	—
合計	3,717	100.0%	233	+6.7%	402	10.8%	88	+28.1%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、第5世代移動通信（5G）のコアネットワーク装置開発案件等の増加により、売上高は前年同期比65.6%増、セグメント利益は前年同期比56.7%増と大幅な増収・増益になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、車載システム開発案件等が減少となり、売上高は前年同期比21.9%減、セグメント利益は前年同期比8.0%減と減収・減益になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、生命保険会社向け業務システムの減少があったものの、製造業及び公共向け業務システム案件等の増加により、売上高は前年同期比2.4%増、セグメント利益は前年同期比11.3%増と増収・増益になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービスにおいて社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、セキュリティ対策案件、ネットワーク構築案件等が堅調に推移し、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件は好調に推移しました。
また、自社プロダクトである「Cyber Smart」シリーズ製品は、コールセンター構築や年間保守の増加により好調に推移しました。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2020/12	第1四半期末 2021/03	前期末差
流動資産	6,162	6,073	▲88
現金及び預金	919	930	10
受取手形及び売掛金	3,117	3,202	85
商品	3	9	5
仕掛品	39	67	28
短期貸付金	1,994	1,796	▲198 ①
その他	87	67	▲19
固定資産	3,546	3,417	▲128
有形固定資産	2,540	2,522	▲17
無形固定資産	39	33	▲5
その他	966	860	▲105
資産合計	9,708	9,491	▲217
流動負債	2,096	1,682	▲414
買掛金	477	557	80
未払費用	275	263	▲11
未払法人税等	151	39	▲111 ②
賞与引当金	632	333	▲298 ③
役員賞与引当金	24	6	▲17
その他	535	480	▲54
固定負債	2,127	2,187	60
退職給付引当金	2,094	2,153	59
役員退職慰労引当金	32	34	1
負債合計	4,224	3,870	▲353
純資産合計	5,484	5,620	136
負債純資産合計	9,708	9,491	▲217

主な増減要因

- ①CMS貸付金の減少
- ②2020年度 法人税等確定納付による減少
法人税等 ▲96百万円
県民・市民税 ▲59百万円
- ③2021年度 春季賞与支給による減少
▲632百万円
2021年度 秋季賞与引当による増加
333百万円

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

◇ご参考

	2020年12月末	2021年3月末
1株当たり純資産	683.77円	700.79円
自己資本比率	56.5%	59.2%

5. 参考情報 (セグメント別売上高)

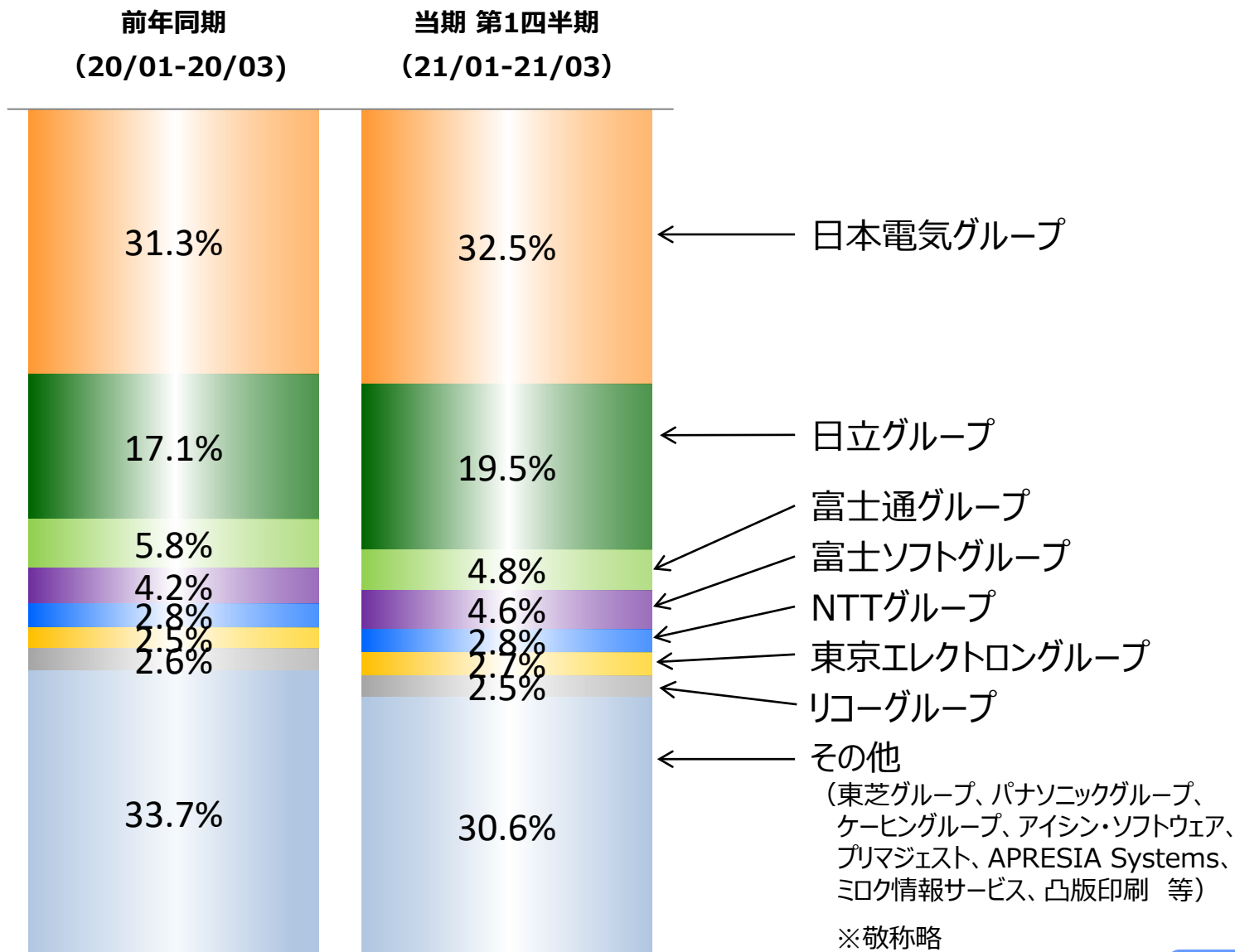
セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2020年12月期			2021年12月期			
	第1四半期 (2020年1月～3月)			第1四半期 (2021年1月～3月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	2,762	79.3%	+1.5%	2,926	78.7%	164	+6.0%
通信ソフトウェア開発	461	13.2%	▲11.5%	764	20.6%	302	+65.6%
通信基盤	267	7.7%	▲29.0%	617	16.6%	349	+130.7%
その他通信	194	5.6%	+33.9%	147	4.0%	▲46	▲24.2%
制御ソフトウェア開発	792	22.7%	▲6.1%	618	16.6%	▲173	▲21.9%
車載	482	13.9%	+1.8%	324	8.7%	▲157	▲32.7%
その他制御	309	8.9%	▲16.2%	293	7.9%	▲15	▲5.1%
業務ソフトウェア開発	1,508	43.3%	+11.2%	1,544	41.5%	35	+2.4%
金融	485	13.9%	+2.7%	422	11.4%	▲62	▲12.9%
製造	192	5.5%	+151.3%	249	6.7%	57	+29.7%
公共	204	5.9%	▲7.9%	248	6.7%	44	+21.5%
情報通信	242	7.0%	+44.9%	238	6.4%	▲4	▲1.8%
医療	139	4.0%	+10.0%	153	4.1%	14	+10.2%
流通	91	2.6%	▲28.6%	106	2.9%	14	+16.0%
その他業務	152	4.4%	▲6.8%	124	3.3%	▲27	▲18.1%
サービス事業	707	20.3%	+17.5%	783	21.1%	75	+10.7%
ファシリティ事業	13	0.4%	▲10.0%	6	0.2%	▲6	▲49.2%
合計	3,483	100.0%	+4.3%	3,717	100.0%	233	+6.7%

5. 参考情報（顧客別売上構成比）

顧客別売上構成比（前年同期比較）



5. 参考情報（業績予想）

2021年12月期 業績予想

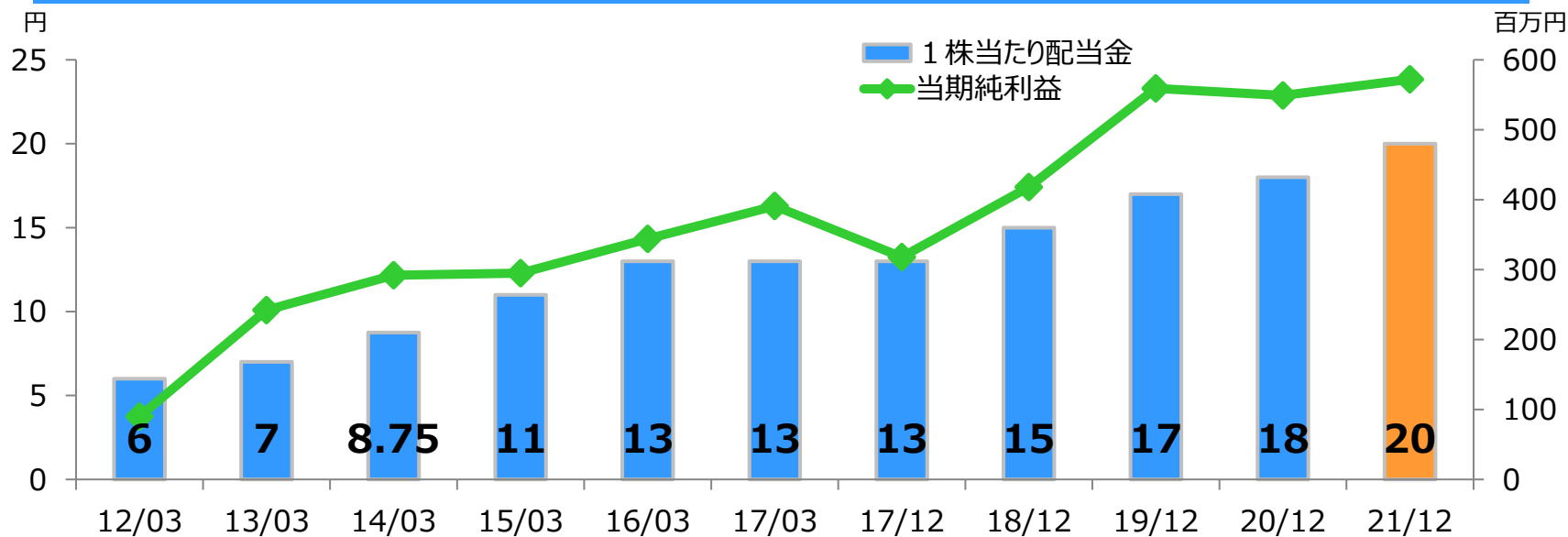
(単位：百万円)

	前期実績 (20/01-20/12)	業績予想 (21/01-21/12)	増減／増減比	
売上高	13,672	14,400	+727	+5.3%
営業利益	827	850	+22	+2.7%
営業利益率	6.1%	5.9%	—	—
経常利益	842	850	+7	+0.8%
経常利益率	6.2%	5.9%	—	—
当期純利益	549	572	+22	+4.2%
当期純利益率	4.0%	4.0%	—	—
1株当たり 当期純利益	68.45円	71.31円	2.86円	—

通期の業績予想につきましては、2021年2月8日発表のとおりで変更ありません。

5. 参考情報（配当予想）

配当金（年間）：1株につき20円
（配当金総額：160百万円 配当性向28.0%）



※15/03期の配当金：普通配当 9.5円 + 東証二部上場記念配当1.5円

※16/03期の配当金：普通配当11.5円 + 東証一部指定記念配当1.5円

※17/12期の配当金は決算期変更により2017年4月から12月の9ヶ月間を対象期間としております。

当社の利益配分は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、『安定した配当』を継続して実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応するための事業拡大、人材育成やオフィス環境整備などの戦略的投資に加え、情報セキュリティ強化への積極的投資、さらには、新製品及び新サービス創出のための研究開発投資やM & A等に活用し、経営基盤の強化を図ってまいりたいと考えております。

上記方針に基づき、当期の利益配当につきましては1株当たり20円を予定しております。

5. 参考情報（会社概要）

会社プロフィール

名 称：	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地：	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34
設 立：	1978年12月4日
代 表 者：	代表取締役社長 渡辺 剛喜
資 本 金：	3億99百万円
社 員 数：	1,228名（2021年4月現在）
事業内容：	ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2020年12月期の主なニュース

日付	内容
2021/03/18	第43回定時株主総会を開催
2021/02/24	2020年12月期 決算説明会の動画を配信開始
2021/02/08	2020年12月期 決算発表
2021/01/15	「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当社の対応について」及び「事業拡大を目指しオンラインでも積極的な採用活動を実施！」を公表
2021/01/01	管理本部、ソリューション事業本部、システム事業本部、サービス事業本部の4本部制に再編

サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する

Cyber Com
サイバーコム株式会社

当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。